

グローバル製品供給戦略 — 体制構築と生産能力の拡大 —



2025年と
その先の成長に向け、
製品供給ネットワークの
最適化を目指します

木村 章男 常務執行役員
グローバルプロダクト
サプライ担当

競争力の源泉となる製品供給体制を構築

ヘルスケア企業における製品供給は、患者さんや人々からの信頼の基盤を担う重要なミッションです。これまで、製品を安定的に世界中の患者さんに届けるため、生産拠点の再編や、仕向け地での最終包装化による供給のリードタイム短縮、他社工場からの自社工場への製造内製化による原価低減など、グローバルでの製品供給体制の強化に取

り組んできました。現在は、さらなるグローバル化と製品の多様化を見据え、柔軟な製品供給ネットワークの構築を目指すとともに生産能力の拡大にも着手しています。

これまでは、90年代半ばに工場新設を含めた大型の設備投資以降、主に既存設備の高稼働と製造現場における継続的な改善活動で生産性を高め、需要の増加に対応してきました。現在では、年間生産本数は約4億本^{*1}まで着実に増加し、グローバルで既存製品の需要は顕在化しており、加えて、新たな疾患領域への事業拡大によるソリューションの多様化など、中長期の事業環境の変化を見据え、中国蘇州の新工場着工や滋賀プロダクトサプライセンターの増設などの生産拠点強化に取り組んでいます。2025年稼働予定の蘇州新工場は、年間最大8.4億本^{*1}の生産能力を誇り、今後も成長が予想される中国市場に対する生産拠点として期待しています。

当社では、製品供給長期戦略フレームワークを設け、8つの視点で今後の生産供給における課題を整理し、従来の方法や仕組みにとらわれない全体最適の視点でMTP2025における製品供給戦略を策定しています。経営資源の獲得・整備・最適化による強固な事業基盤の構築に加え、速やかな製品上市や生産性向上に向けた技術革新、法規制遵守によるグローバルエクセレンスを目指し、顧客満足度を高めることで差別化していきます。

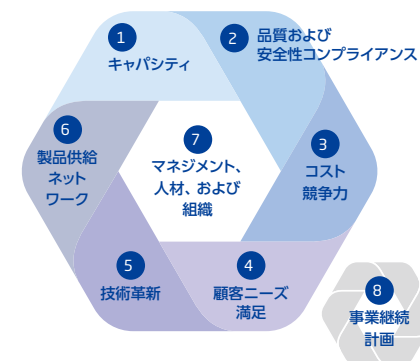
変化にプロアクティブに対応し優位性を高める

今後、事業環境がダイナミックに変化していく中で、競争力を高めるためには高品質な製品の安定供給はもちろん、

患者さんのニーズや各国・地域の市場環境を深く理解して的確に需要予測を行い、プロアクティブに対応することが不可欠です。設備やラインの新設には一定の時間や投資が必要ですので、極めて高い精度で数年先を予測しなければなりません。地域・部門を越えた社員間の連携を促進し、事業環境の最新情報にアクセスできる仕組みを整備し、社員の成長を力強く後押しする組織風土を目指します。将来にわたって生産性の向上とグローバルでの製品の安定供給を図り、患者さんや社会への貢献を一層進めていきます。

^{*1} 5mL換算

製品供給長期戦略フレームワーク



滋賀 増設予定の第3棟完成イメージ
(建物奥)



中国蘇州 新工場完成イメージ